

[010] 九州大学附属図書館研究開発室年報 :
2005/2006

<https://doi.org/10.15017/3226>

出版情報 : 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2005/2006, pp. 1-77, 2006-06-01. 九州大学附属図書館
研究開発室
バージョン :
権利関係 :

論文・関連講演会等

平成8年度（第1年次）

- H 8 . 11 . 19 九州大学の新図書館情報システムの披露式典及びデモンストレーションを開催。画像検索システム、全文検索システム、OPAC横断検索システム、CD-ROMサーバシステム等の研究開発の成果を披露
- 11.29 竹田室員講演「電子図書館を超えて」（福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会〈平成8年度第2回〉）
- H 9 . 3 . 18 図書館職員研修会（研究開発室員を講師として）
- 竹田室員「情報検索と図書館」
 - 柳原室員「欧米及び日本の〈外交史料館〉について」
 - 中野室員「版本書誌学の諸問題」

平成9年度（第2年次）

- H 9 . 12 . 1 国文学関係貴重資料「大和物語」「伊勢物語」「建礼門院右京大夫集」画像データベースをWWWサーバにより公開
- H10. 2 . 1 「17～18世紀国際法史・国制史コレクション」データベースをWWWサーバにより公開

平成10年度（第3年次）

- H10. 4 . 1 国文学関係貴重資料「扶桑名勝図」画像データベースをWWWサーバにより公開
- 11.9 秦ソウル大学校中央図書館長による講演「情報化時代における韓日文化交流と大学図書館の役割」（於：附属図書館視聴覚ホール）
- 11.9 研究開発室研究会（於：附属図書館会議室）
- ソウル大学校中央図書館と九州大学附属図書館における電子化の状況についての報告と意見交換を行った
- H11. 3 . 26 韓国ソウル大学校図書館との図書館間交流協定締結（於：ソウル大学校）

平成11年度（第4年次）

- H11. 5 . 10 松原室員による開学記念貴重文物展観「韓国を知る、日本を知る：江戸時代から21世紀の国際交流を考える」（5月16日まで）
- 5 . 10 有川室長講演「情報の検索から知識の発見へ」（日本医学図書館協会シンポジウムパネル討論）（於：アクロス福岡）
- 5 . 11 松原室員による公開講演会「命を五年縮侯：雨森芳洲と日韓文化交流」（於：附属図書館視聴覚ホール）
- 5 . 27 有川室長講演「図書目録カードのイメージ化とその検索」（国立大学図書館協議会）（於：東京大学附属図書館）
- 7 . 21 有川室長講演「情報学研究と大学図書館」（名古屋大学図書系職員研修会）（於：名古屋大学附属図書館）
- H12. 1 . 26 有川室長講演「九州大学における情報基盤センターへの期待」（熊本大学学術講演会）（於：熊本大学附属図書館）
- 3 . 1 有川室長講演「九州大学附属図書館の中・長期目標について」（於：九州大学附属図書館）
- 3 . 31 国文学関係貴重資料「源氏物語」画像データベースをWWWサーバにより公開。

平成12年度（第5年次）

- H12. 5 . 8 今西室員による開学記念貴重文物展観「平安朝文学入門：竹取・伊勢・源氏の世界」（5月14日まで）
- 5 . 11 今西室員による公開講演会「平安朝文学の楽しみ方」（於：附属図書館視聴覚ホール）
- 7 . 6 イメージデータによる図書目録カード検索システムをさらに充実させて公開（文学部及び九州文化史研究所の図書目録カード約50万枚を新たに入力）。
- 8 . 1 Yamanoue, T., Minami, T. and Ruxton, I. 'Using the WebLEAP (Web Language Evaluation Assistant Program) to write english compositions' (FLEAT IV : The Fourth Conference on Foreign Language Education and Technology, July 28th-August 1st, 2000)

- 8.23 有川室長講演「九州大学における電子図書館機能の拡充」(東北大学附属図書館講演会)(於:東北大学附属図書館)
9. 南俊朗、栗田英和、有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム: 遡及入力問題の一解決法」(『デジタル図書館』No.18, 2000.9)
- 10.6 有川節夫、南俊朗「ICタグに関する調査報告」(ICタグに関する懇談会)(於:東京大学附属図書館)
- 11.8 有川室長講演「情報学研究所への期待」(国立情報学研究所公開講演会特別講演)(於:京都国際会議場)
- 11.10 台湾大学呉明德図書館長が来館し「図書館の電子化と電子図書館に関する合同セミナー」を開催
 ○有川室長のオープニング
 ○呉館長 ‘Development of digital libraries in Taiwan’
 ○南室員 ‘Putting old data into new system : web-based catalog card image searching’
 ○竹田室員 ‘AIR and SIGMA : two efficient information retrieval system at Kyushu University’
 ○篠原歩システム情報科学研究所助教授 ‘Efficient string pattern matching and text compression : the dawn of a new era’
 ○有村博紀システム情報科学研究所助教授 ‘Discovery of important keywords in the cyberspace’
 ○松原室員により締めくくり
- 11.13 2000年京都電子図書館国際会議におけるチュートリアル他(11月16日まで)
 ○有川室長「大学図書館と電子図書館の未来」
 ○Toshiro Minami, Hidekazu Kurita, Setsuo Arikawa ‘Putting old data into new system : web-based catalog card image searching’
 ○Hiroki Arimura, Jun-ichiro Abe, Hiroshi Sakamoto, Setsuo Arikawa, Ryoichi Fujino (ENICOM), Shin-ichi Shimozono (Kyushu Institute of Technology) ‘Text data mining : discovery of important keywords in the cyberspace’
- 11.14 Minami, T., Kurita, H. and Arikawa, S. ‘Putting old data into new system : web-based catalog card image searching’ (Proceedings of 2000 Kyoto International Conference on Digital Libraries : ICDL 2000 , p. 296-p. 303, Nov. 2000)
- 11.29 松川伸一、南俊朗「図書目録カードイメージ入力のボトルネック: 大量データの正当性を検証する」(『デジタル図書館』No.19, 2000.11)
 山之上卓、南俊朗、Ian Ruxtn 「文書作成支援のためのWWWコンコーダンサー」(第7回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ: FOSE2000, 2000.11)
- 12.7 有川室長講演「オンラインジャーナルの導入と外国雑誌の収集体制の在り方」(国立大学図書館協議会シンポジウム基調講演)(於:名古屋大学附属図書館)
- 12.12 Oda, M. and Minami, T. ‘From information search towards knowledge and skill acquisition with SASS’ (Proceedings of the 2000 Pacific Rim Knowledge Acquisition Workshop : PKAW 2000, Dec.2000)
- H13.1.10 九州大学附属図書館研究開発室編、今西裕一郎(人文科学研究所教授) 監修・解説『「古活字版源氏物語」全画像データベース:九州大学附属図書館所蔵本』CD-ROM発行(勉誠出版)
- 3.7 有川室長講演「学習・教育・研究の基盤としての大学図書館をめざして」(東京大学附属図書館講演会)(於:東京大学附属図書館)
- 3.7 有川節夫、南俊朗「ICタグに関する調査報告(2)」(ICタグに関する懇談会)(於:東京大附属図書館)
- 3.20 ソウル大学校中央図書館における講演
 ○有川室長 ‘Discovery of important keywords in the cyberspace’
 ○今西室員「古活字版源氏物語画像データベース」
 ○南室員 ‘Putting old data into new system’

平成13年度(第6年次)

- H13.5.31 有川室長「ICタグに関する懇談会経過報告」(国立大学図書館協議会理事会)
- 6.22 山野室員講演「新図書館の建築空間を考える: どうすれば使いやすくなるか」(新図書館検討ワーキンググループ対象)
- 6.28 新図書館検討ワーキンググループ(研究開発室員 山野善郎監修)「理系図書館における建築性能等への要望(案)」
- 9.8 Minami, T. and Arikawa, S. ‘Amalgamation of Classification and keyword searches of library catalog with web technology’ (KES2001)

10. 南特別研究員による全学教育科目「ネット時代の情報センス」講義開始
- 10.25 南特別研究員講演「ネットワーク時代の電子図書館像を考える：九州大学附属図書館における試行」(全国図書館大会大学図書館分科会招待講演)
- 11.7 南特別研究員講演「図書目録カード検索システムの開発と図書館電子化」(大分県大学図書館協議会研修会)
- 12.18 南俊朗、喜田拓也「電子図書館構築のための画像認識技術への期待」(数式認識研究会) (於：福岡教育大学)
- H14.1.7 附属図書館講演会(研究開発室研究開発業務成果報告会)
I プレゼンテーション
○喜田室員「図書館と情報スキルアップ教育：情報検索講習会報告と今後の展望」
○南特別研究員「図書館自動化&デジタル化=電子図書館：附属図書館における現状と展望」
○藤崎室員「RFIDを用いた図書館運用について」
○吉田室員「古書・文書データベース構築に関する調査研究」
○山野室員「統合移転後の新図書館建築に関する調査研究」
II 講演
○有川室長「これからの大学図書館」
- 2.6 喜田拓也、南俊朗「電子図書館：図書館自動化&デジタル化」(産学官技術シーズ展)
- 2.22 有川室長講演「これからの大学図書館」(於：慶北大学校中央図書館)

平成14年度(第7年次)

- H14.4.19 南特別研究員「ICタグの利用と目録カードのイメージ検索による図書館電子化への試み」(第53回九州地区大学図書館協議会総会)(於：大分市)
- 7.10 韓国慶北大学校中央図書館との図書館間交流協定締結(於：慶北大学校中央図書館)
- 11.21 南俊朗「新世代図書館像を探る：電子図書館への実証的アプローチ」(OR学会九州支部講演会)(於：福岡大学)
- 11.25 Yamanoue, T., Minami, T. and Ruxtn, I. 'Web-based concordancer to learn usage of English expressions' (First International Conference on Information Technology & Applications : ICITA 2002)
- H15.1.8 海外図書館視察報告会
○藤田室員、昌子情報サービス第二掛長「スウェーデン・フィンランドの図書館」
○大村データベース掛員「英国・ドイツ2002.9.11-2002.9.19」
1. 南俊朗、喜田拓也「RFIDタグを利用した自動化図書館への課題と夢」(季刊文教施設09)
- 1.14 南俊朗「自動認識技術による図書館電子化の試み」(鹿児島県大学図書館協議会研修会)(於：鹿児島国際大学)
- 1.25 有川室長「これからの大学図書館と電子図書館機能」(筑波大学・図書館情報大学統合記念シンポジウム招待講演)(於：筑波大学)
- 1.28 附属図書館講演会
○加藤好郎(慶応義塾大学三田メディアセンター事務長)「私立大学図書館の経営戦略：図書館職員の育成計画」
○喜田室員、藤崎室員、南俊朗特別研究員「RFIDによる図書館運用について：図書館の電子化・自動化に向けて」
- 2.4 筑紫分館においてICタグによる図書館システムの披露式
- 2.20 ラテン語古刊本書誌作成研修会の第5期目を終了
- 2.27 喜田室員「九大附属図書館における情報リテラシー教育活動とe-Learningへの取り組み」(沖縄県図書館協議会講演会招待講演)(於：琉球大学)

平成15年度(第8年次)

- H15.6.26 有川室長「図書館が変われば大学が変わる」(国立大学図書館協議会50回記念総会記念講演)(於：大宮市)
7. 藤田室員を講師として、職員の会計簿記勉強会を8回にわたって開催(～9月)
- 10.31 台湾大学図書館と図書館間交流協定を締結(於：本学附属図書館)

平成16年度(第9年次)

- H16.5.10 宮崎室員による開学記念展示会「シーボルトが観た日本：NIPPON初版本図版から」を開催(～

- 5.19)
- 5.15 宮崎室員による公開講演会「“再発見”シーボルト『NIPPON』」(於：附属図書館視聴覚ホール)
- 5.19 韓国ソウル大学校中央図書館との図書館業務交流に関する覚書調印
- 5.20 九州大学附属図書館とソウル大学校中央図書館による国際セミナー「響きあう図書館ルネッサンス：日韓大学図書館の最新技術と図書館協力」(於：筑紫分館)
- 7.1 西村室員の指導による「ラテン語古刊本書誌作成研修会」の活動に対し、国立大学図書館協会賞が授与された(於：大阪大学)
- 7.8 藤崎室員「ICタグ技術の図書館業務への適応と課題」(宮崎大学・電子情報通信学会九州支部特別講演)
11. 南俊朗, 池田大輔, 喜田拓也「RFID技術を用いた図書館自動化への期待」(『デジタル図書館』No. 25&26, pp. 3-18, November, 2004.)
12. Wolfgang Michel, Elke Werger-Klein. Drop by Drop - The Introduction of Western Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan. Journal of the Japan Society of Medical History, Vol. 50, No. 4, pp. 463-492.
- 12.1 Toshiro Minami: Library Automation for Library Informatization, Proc. 3rd International Conference on Information, 2004.
- 12.10 Toshiro Minami: Needs and Benefits of Book Agent Systems for u-Libraries, Proc. International Workshop on Massively Multi-Agent Systems (MMAS), 2004. Also in LNCS 3446, pp. 239-253, 2005.
- 12.21 海外図書館視察報告1「英米の潮流」を開催
 - John Dyson (在福岡アメリカ領事館広報担当領事・福岡アメリカンセンター館長) 'The Value of International Studies for Professional Development'
 - 渡邊由紀子 (雑誌情報掛長)「インターナショナル・ビジター・プログラムで訪問したアメリカの図書館」
 - 荒木啓二郎 (副館長)「South Bank University, British Library 見聞記」
- H17. Wolfgang Michel. Western Medicine and Pharmaceutics in Seventeenth Century Japan. Proceedings of the Tenth International Conference on the History of Science in East Asia. Shanghai Jiao Tong University Press, 2005, pp.173-184.
- H17.2. Wolfgang Michel. Far Eastern Medicine in Seventeenth and Early Eighteenth Century Germany. Studies in Languages and Cultures, Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University, No. 20 (2004), pp. 67-82.
- 2.8 福岡県立図書館、アクロス福岡との共催による展示会「シーボルトが観た日本：『NIPPON』、『日本植物誌』、『日本動物誌』そして福岡の人々」を開催(於：アクロス福岡、～2.13)
- 2.12 Michel室員による講演会「シーボルトの日本観－日本のシーボルト観」を開催(於：アクロス福岡)
3. 池田大輔, 安東奈穂子, 田中省作「デジタルライブラリにおける履歴・個人情報の保護及び利用」(第27回デジタルライブラリワークショップ, 筑波大学東京キャンパス, March, 2005.)
3. 池田大輔「新たな電子図書館モデル構築に向けて」(『九州大学附属図書館 図書館情報』Vol. 40, No. 3, pp. 49-50, 2005.)

平成17年度 (第10年次)

- H17.5.9 今西室員による開学記念展示会「源氏物語の本いろいろ：源氏物語はどんな本で読まれてきたか」を開催(～5.18)
- 5.11 海外図書館視察報告2「韓流・漢流図書館事情」を開催
 - 甲斐重武 (利用支援課長)・宮岡大輔 (利用支援課資料サービス係)「韓国大学図書館事情：日韓ILL/DDサービス体制を中心に」
 - 荒木啓二郎 (副館長)「浦項 (ポハン) 工科大学校 学術情報院を訪ねて」
 - 片岡真 (利用支援課調査サービス係)・星子奈美 (コンテンツ整備課電子情報係)「アジア電子図書館国際会議と上海の大学図書館」
 - 李成烈 (ソウル大学校中央図書館) (通訳：図書館企画課企画係 大村明美)「ソウル大学校図書館と資料保存：九州大学での研修にあたって」
- 6.14 池田室員「電子図書館とプライバシー」(法学部学生対象)(於：九州大学21世紀交流プラザ)
- 6.15 池田室員「附属図書館が考える電子図書館～新しい図書館の姿～」(第1回技術マネジメント交流会)(於：ベンチャービジネスラボラトリ)
- 松岡剛志, 緒方将人, 犬塚尚恵, 藤崎 清孝「RFIDリーダ・ライタの磁界放射特性の測定と講義出席

- 調査への利用」(九州産業大学工学部研究報告、第42号、2005)
- 7.14 喜田拓也, 南俊朗: 図書目録カード画像検索システムの改善ー扱いやすく柔軟なインタフェースへの移行ー, 夏のデータベースワークショップDBWS2005, 2005.
- 7.15 宮岡大輔 (利用支援課資料サービス係), 「図書館におけるICタグの活用~九州大学附属図書館筑紫分館の導入事例から」(北海道地区私立大学図書館協議会、2005年度第1回業務研究会)
8. 山口恭平, 宮川拓也, 大森洋一, 池田大輔 「Web上における仮想書架の試作と評価」(『デジタル図書館』第28巻, pp.27-39, Aug. 2005)
9. 松本英樹, 田中省作, 池田大輔, 伊東栄典, 神門典子 「単純な部分文字列照合による文書からの書誌情報の抽出」(第58回電気関係学会九州支部連合大会, Sept. 2005.)
- 9.1 南俊朗・ユビキタス社会のMy LibraryーICタグで拓く利用者指向ー, 日本薬学図書館協議会研究集会招待講演. Also in 薬学図書館Vol.51, No.1, pp.8-17, 2006.
- 9.7-9 杉本典子, 金丸玲子, 関隆宏, 石野明, 竹田正幸, 廣川佐千男 「XDES - 多様な構造と流動的变化に対応できるデータエントリーシステムの構築」(第4回情報科学技術フォーラム)
- 9.28 喜田拓也, 南俊朗: テキストファイルによる図書目録画像データベースの構築と管理, 日本データベース学会Letters Vol. 4, No.2, pp.61-64, 2005.
10. 南俊朗: 図書館ポータル化による住民サービスの勧め~インターネット化だけではないもう一つの情報化~, 月刊LASDEC10月号巻頭言, 2005.
10. Hideo Bannai, Kohei Hatano, Shunsuke Inenaga, and Masayuki Takeda. 'Practical Algorithms for Pattern Based Linear Regression.' (In Proc. of the 8th International Conference on Discovery Science (DS 2005), Lecture Notes in Artificial Intelligence 3735, pp. 44-56, October 2005.)
11. Dou, Y., Itoh E., Hirokawa S. and Ikeda D., 'An Approach to Analyzing Correlation between Songs/Artists Using iTunes Playlists' (Proc. IAWTIC'2005, Nov. 2005.)
11. 池田大輔 「高性能RFIDリーダ付き書架の性能評価と新たなサービスの提案」(『デジタル図書館』第29巻, pp.15-26, Nov. 2005.)
11. Hisashi Tsuji, Akira Ishino, and Masayuki Takeda. A Bit-Parallel Tree Matching Algorithm for Patterns with Horizontal VLDC's. In Proc. of the 12th International Conference on String Processing and Information Retrieval (SPIRE 2005), Lecture Notes in Computer Science 3772, pp. 388-398, November 2005.
11. 池田大輔, 南俊朗, 宮岡大輔 「九州大学附属図書館筑紫分館におけるICタグシステム導入-実験・運用経験からのアドバイス」(『図書館とICタグ/清水隆 [ほか] 共著』, p.63-p.67, Nov. 2005.)
- 11.1 南俊朗: 図書館におけるICタグの導入と活用, やまぐち産業振興財団研究会招待講演.
- 11.10 池田大輔, 南俊朗, 宮岡大輔 「図書館へのRFID導入例」(『Electronic Journal 別冊 2006 RFID技術ガイドブック』, p.117-121, Nov. 2005.)
- 11.21-22 石野明, 竹田正幸 「パスプルーニングと決定性有限オートマトンを用いたストリーム指向のXQuery処理」(データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2005))
- H18.3. 石野明, 竹田正幸. 「パスプルーニングによる決定性有限オートマトンを用いたXQuery処理の提案.」(DBSJ Letters Vol.4, No.4, pp. 17-20, 2006.3)
3. 安藤健太郎, 大森洋一, 池田大輔 「Webサービスを用いた読書録サービスの設計と実装」(『デジタル図書館』第30巻, pp.54-61, Mar. 2006)
3. 安東奈穂子, 池田大輔, 田中省作 「電子図書館と利用者のプライバシー——履歴・個人情報の保護と利用の両立を目指して——」(『デジタル図書館』第30巻, pp.62-71, Mar. 2006)
3. 松本英樹, 田中省作, 池田大輔, 平木啓太 「単純な部分文字列照合によるWebからの書誌情報の抽出」(『デジタル図書館』第30巻, pp.47-53, Mar. 2006)
3. 宮川拓也, 大森洋一, 池田大輔 「仮想書架における背表紙画像生成の自動化」(『デジタル図書館』第30巻, pp.25-38, Mar. 2006)
3. 宮田功治, 池田大輔 「ユビキタス図書館~遍在する図書館サービス~」(『デジタル図書館』第30巻, pp.81-85, Mar. 2006)
3. 南俊朗: 利用者指向サービスのための館内マーケティング, 九州情報大学研究論集 第8巻第1号, 2006.
- 3.1-2 池末修也, 石野明, 御手洗秀一, 竹田正幸 「パスプルーニングと決定性有限オートマトンを用いた大規模かつ高速なXQuery処理システムの実装」(電子情報通信学会第17回データ工学ワークショップ (DEWS2006))
- 3.7 池田室員 「MIID紹介とその図書館サービスへの影響」(情報の保護と利用を考えるセミナー)(於: 附属図書館新館4F会議室)

- 3.16 第30回デジタル図書館ワークショップ開催（於：附属図書館視聴覚ホール）
7. Shunsuke Inenaga, and Masayuki Takeda. 'On-line Linear-time Construction of Word Suffix Trees.' (In Proc. of the 17th Annual Symposium on Combinatorial Pattern Matching (CPM2006), to appear in Lecture Notes in Computer Science, 2006 (受理印刷中).)

調査・視察等

平成9年度（第2年次）

- H9.11.15 米国大学図書館視察（柳原室員、末次情報管理課長補佐）
○訪問先：シカゴ大学図書館、アメリカ図書館協会本部他
○調査内容：大規模大学図書館の組織・運営・サービス、電子図書館化、研究開発機能等の実態調査のため。

平成11年度（第4年次）

- H11.10.31 東南アジア大学視察（柳原室員、栗山情報管理課長補佐、益森電子情報掛長）
-11.5 ○訪問先：国立シンガポール大学、チュラロンコン大学、タマサート大学図書館他
○調査内容：東南アジアにおける電子図書館化の現状、英語以外の言語使用国における電子図書館化の状況及び組織・運営・サービス・予算等の実態調査のため。
H12.3.24 ソウル大学校中央図書館訪問（有川室長、今西室員、佐田事務部長）

平成12年度（第5年次）

- H12.6.16 ソウル大学校中央図書館訪問（今西室員、田中情報サービス課長、山田情報システム課図書館専門員）
H12.6.27 米国大学図書館視察（今西室員、中野三敏名誉教授、古賀情報サービス課図書館専門員）
○訪問先：カリフォルニア大学パークレー校、スタンフォード大学
○調査内容：和漢書の書誌調査、図書館運営の実態等
H12.11.17 韓国大学図書館視察（今西室員、山口情報サービス掛員、木村医学分館相互利用掛長、松田六本松分館閲覧掛長、阿部経済学部図書掛長）
○訪問先：韓国高麗大学、梨花女子大学他
○調査内容：韓国における大学図書館の電子図書館化の状況、利用サービスの現況等の調査。
H12.11.18 オーストラリア大学図書館視察（江藤雑誌情報掛員）（九州大学創立八十周年記念事業による）
-11.25 ○訪問先：オーストラリア国立大学、モナッシュ大学
○調査内容：オーストラリアにおける大学図書館のコンソーシアムの実態等について調査。
H13.2.16 韓国大学図書館等視察（松原室員、園田医学分館図書館専門員、田村情報サービス第二掛長、林田データベース掛長）
○訪問先：韓国釜山大学、慶山大学、韓国中央図書館他
○調査内容：電子図書館化、データベース化の現状、利用サービスの実態等を調査
H13.3.12 韓国大学図書館等視察（西村電子情報掛員、田中経済学部図書掛員）
-3.14 ○訪問先：延世大学校図書館、西江大学校図書館、韓国国立中央図書館
○調査内容：韓国の大学図書館及び国立図書館における図書館サービスの現況に関する調査。
H13.3.20 韓国ソウル大学校を訪問（有川室長、今西室員、南室員、高塩情報管理課長）
○用務内容：ソウル大学校中央図書館との交流協定事業のひとつである、刊行物の交換の一環として、ソウル大学校出版会と九州大学出版会の刊行物を相互に寄贈交換することについての協議を行い、合意に達した。

平成13年度（第6年次）

- H13.6.15 宮崎県北方町立図書館を訪問（有川室長、南室員、藤崎室員、佐田事務部長、田中情報サービス課長、栗山情報管理課補佐、昌子情報サービス第二掛長、井上医学分館専門員、緒方医学分館相互利用掛長）